

新住園景

—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—

山と川

まだまだ暑い日が続いていますが体調を崩されていいのでしょうか。そんな日には冷たい水に飛び込みたいというのは子供も大人も同じですよ。

7月、8月は溪流民宿とんぼ屋へ涼を求めて多くの方が遊びに来られました。

民宿前の水路に足を浸けたり近くの川で泳いだり魚や虫を捕まえたり、楽しくみんなで遊びました。ただ、川に絶対の安心安全はありません。事前の確認と予防が大切ですし、無理をしないことも重要ポイントです。これを守れば楽しい場所へ変わります。八頭町は水がきれいな川が多いので夏は遊び放題ですね。

先日、町内登山道の正しい記録のため、国土地理院の方から指導を受けてGPSで正しい道を記録していくという活動を馬酔木の会

をはじめとする方々で行いました。今回は遠見山、扇ノ山、綾木峠、佐崎、茂谷を調査しました。中でも綾木峠は八河谷に抜けている為、近くにあるけど一人ではなかなか行けない場所でした。初めて入る自然歩道は全てが新鮮でもとても楽しく活動できました。

足立智



八東ふるりの森

7月17日に行われた「八東ふるりの森イベント」に参加させていただきました。八東ふるりの森は、とても珍しい「アカシヨウビン」や「セキシヨクコノハズク」などの野鳥が見ることのできる、日本有数の場所。この時期セキシヨクコノハズクの雛が見ることができるともあって、関西や九州から沢山の旅行者やバードウォッチャーが訪れ、大変盛況でした。イベントの芸能では、八頭町PR隊による八頭町音頭や鳥取大学の学生によるジャズ、やずびよんの踊りなどが行われました。

この日は、生まれて初めて「アカシヨウビン」を見ることができました。アカシヨウビンは、とても赤く可愛らしい鳥でした。見られない日もあるという

ことを聞き、とても幸運に感じます。

自然がとても豊かな八頭町。自然だけでなくおいしいものも多いです。遠方からわざわざ訪れたくなる要因が、沢山あることに素晴らしいと感じます。

佐藤 竜也



いらぬ柿は柿渋に

毎年「今年の夏が一番暑い」と言っている気がしますが、今年の夏も暑い日が多く、暑さによる農産物への影響が気になります。

少し前の話ですが、大御門地域では柿の摘果作業（大きな柿の実を作るために余計な柿を落とす）が行われました。私も摘果作業を行いました。私は今年の実のなる数が多かったため、いつもより多くの数を落とさなければなりません。実はこの摘果した実を使って作った「柿渋」を生産者の方から見せて頂いたことがあります（写真）。柿渋とは、柿をつぶして絞った汁を発酵させたもので、染物や塗料などとして使われます。柿渋用に摘果を行う場合は渋の多くなる盆過ぎの頃に摘果を行います。柿



の実を大きくするためには6〜7月の早い時期に摘果を行う必要がありますが、柿の木の管理が間に合わない場合には柿渋用に摘果を遅らせる方法も良いのではないかと思います。食べればもちろんおいしい柿ですが、それ以外の利用方法もまだまだありそうです。

磯野 秀基

ニラ 総集編

5月の第一号で集落と餃子販売、6月に土手と草刈りの話。そして7月は歴史、8月は花芽と精進料理の話でした。そろそろお気づきの方もいらっしゃるかと思います。そうです、ネタ切れです。

ニラの収穫期が終わると、私のニラ話も終わってしまふ。栽培法や勘右衛門の歴史をもっと掘り下げるべきなのでしょうが、この移住風景の主旨とずれてしまいます。そこで、ひとまずの延命措置として、私とニラの一週間のまててみたいと思います。月・木は収穫と出荷。その前日の日・水には、収穫予定範囲の草取り。火・金は予備日で、畑周辺の環境整備。土日祝はイベント出店等の対応をして一週間が終わります。これを5月



中旬から8月末まで集落の方々と続けていくわけです。正直しんどい部分もありますが、このニラ作業がなければ東集落に馴染むのにもっと時間がかかったかもしれません。というわけで、そのご恩返しも含めてニラの話をしていくわけでした。嶋田 喜朗

○協力隊フェイスブック

<https://www.facebook.com/yazukyouryokutai/>

○協力隊からのお知らせ

・9月23日（土）18:30~20:30 「レコード音楽会」（於：道の駅はつとう）＜嶋田＞

●「移住風景」バックナンバー

これまで発行した「移住風景」は、八頭町役場のホームページからカラーでご覧いただくことができます。

<http://www.town.yazu.tottori.jp/2630.htm>

平成 29 年度【第 5 号】
平成 29 年 9 月 1 日発行
八頭町役場産業観光課
(0858-76-0208)